

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-107

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名： CR患者における抗PD-1抗体治療中止後の効果持続についての後方視的研究
- ・ 目的： メラノーマ（悪性黒色腫）では免疫チェックポイント阻害薬などの新しい治療法も出現しています。これらの薬は抑制された免疫のブレーキを取り除くことでがんに対して効果を期待する治療です。効果があった患者さんにいつまで治療を継続すべきかは分かっていません。病状悪化以外の理由（副作用や通院困難など）で治療を中断した患者さんにおいて効果がどのくらい持続したかを検討することを目的としています。
- ・ 研究期間： IRB承認後～2021年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 臨床情報

② 利用する者の範囲

： 札幌医科大学	皮膚科(主研究施設)	加藤潤史	宇原 久
旭川医科大学	皮膚科	土井春樹	山本明美
北海道大学	形成外科	林 利彦	山本有平
筑波大学	皮膚科	藤澤康弘	
埼玉医科大学	皮膚科	柳沢宏人	土田哲也
埼玉県立がんセンター	皮膚科	大芦孝平	石川雅士
東京大学	皮膚科	宮川卓也	佐藤伸一
国立がん研究センター	皮膚腫瘍科	並川健二郎	山崎直也
慶應義塾大学	皮膚科	船越 建	
がん・感染症センター都立駒込病院	皮膚腫瘍科	上原治朗	吉野公二
新潟県立がんセンター新潟病院	皮膚科	高塚純子	竹之内辰也
富山県立中央病院	皮膚科	八田尚人	
信州大学	皮膚科	木庭幸子	
静岡県立静岡がんセンター	皮膚科	吉川周佐	清原祥夫
名古屋大学	皮膚科	横田憲二	
大阪国際がんセンター	腫瘍皮膚科	大江秀一	
京都大学	皮膚科	大塚篤司	
九州大学	皮膚科	伊東孝通	古江増隆
国立病院機構九州がんセンター	皮膚腫瘍科	内 博史	

福岡大学

皮膚科

柴山慶繼

熊本大学

皮膚科

青井 淳 福島 聡

鹿児島医療センター

皮膚腫瘍科

青木恵美 松下茂人

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

: 中村泰大 (埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科)